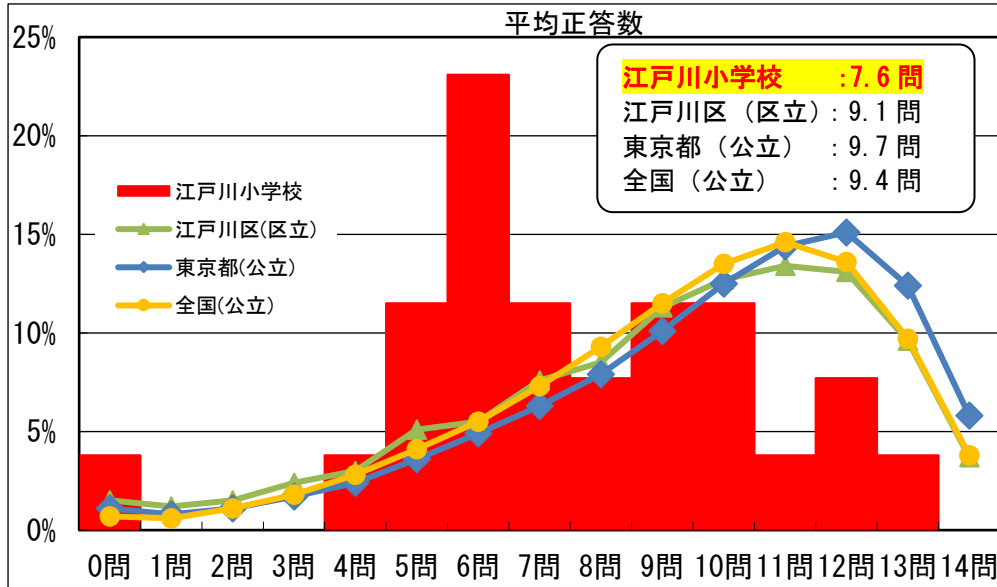


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】江戸川小学校

正答数分布



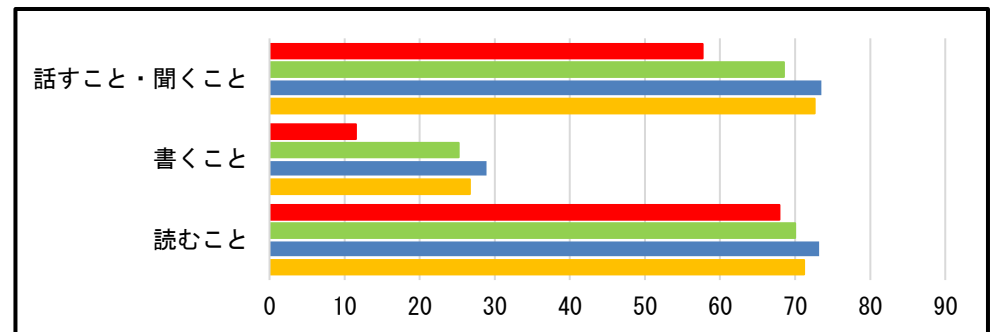
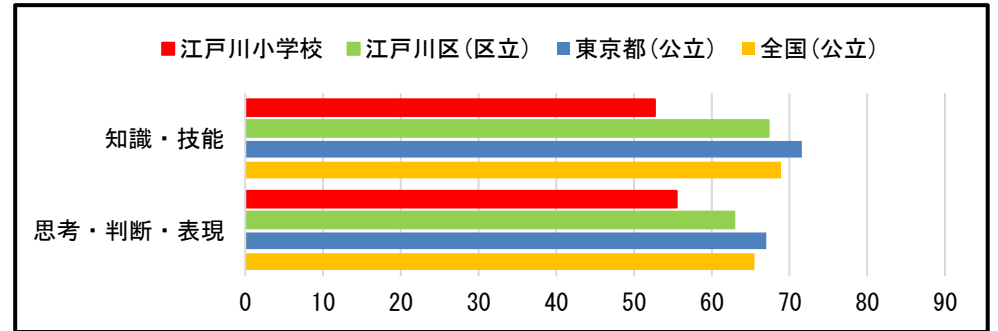
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
江戸川小学校	11.5	15.4	19.2	53.8
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

江戸川小学校	54%
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	15ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

正答率及び「書く問題」が全国平均より15ポイント以上下回った。(1)言葉の特徴や使い方に関する事項、特に漢字の書き直し、敬語の使い方が顕著に低く、その定着が課題である。

【授業改善】

書く力を伸ばすために、毎時間の終末に学習したことを自分の言葉で書かせる「振り返り」を行うとともに、各単元の終末に、学習した内容の要旨や感想を書かせるようにする。

語彙力や漢字を定着させるために、各単元末に必ず進出漢字・言葉の確認を行い、年3回各学年で漢検準拠のテストを行い、校内掲示板上に諺等を示し、言葉への関心を高めていく。

敬語の使い方については、授業中に、必ず丁寧な言葉遣いや敬語を使うよう指導し定着させていく。